

世界の情勢(ヨーロッパ)Ⅱ

科目ナンバリング ARS-104

【Ⅳ】 選択 2単位

森崎 美穂子

1. 授業の概要(ねらい)

現在、様々な分野でグローバル化が進展している。こうした状況において諸外国の政治・経済の知識、文化への理解は、今後の日本の国際社会での役割を考えるうえで重要な要素となる。この授業では、欧州(特に西ヨーロッパ)を取り上げ、地理的特徴や歴史、文化、そして、最近の経済情勢や産業について学ぶ。講義を通じて、欧州に関するニュースの背景を分析し、考察できるなることを目指す。

2. 授業の到達目標

- ①欧州各国の地理的特徴と歴史を把握する。
- ②欧州各国の文化・社会・経済に対する基本的な知識を得る。
- ③欧州各国のニュースに関心を持ち、その事象の原因・背景を分析し、考察する力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業ごとのリアクションペーパー(あるいは授業内ワークの成果)65%、期末レポート35%
- ・出席率3分の2以上(公欠を除く)と期末レポートの提出が単位の取得に必須となる。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配布する。

参考文献

明石和康 『ヨーロッパがわかる一起源から統合への道のり』 岩波書店

木村純子 編著・陣内秀信 編著 『イタリアのテリトリー戦略: 甦る都市と農村の交流』 白桃書房

5. 準備学修の内容

- ・欧州の政治経済に関するニュースを読み、主要な人物やキーワードを覚えておく。
- ・参考書に紹介した本などを読んで欧州の地理、歴史のポイントを押さえておく。

6. その他履修上の注意事項

- ・欧州情勢によって適宜授業の順番・内容を調整する。
- ・「世界の情勢(ヨーロッパ)Ⅰ」の後に「世界の情勢(ヨーロッパ)Ⅱ」を履修することが望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス
授業の内容と進め方、評価方法などの説明 |
| 【第2回】 | EUの経済と産業の特徴 |
| 【第3回】 | EUの気候変動対策と産業 |
| 【第4回】 | EUのSDGsの取り組み |
| 【第5回】 | EUの都市と文化1: 各国の首都、観光都市 |
| 【第6回】 | EUの都市と文化2: 文化政策 |
| 【第7回】 | EUの農山村の持続可能な発展、観光との関係 |
| 【第8回】 | スローフード、スローシティ運動 |
| 【第9回】 | EUと諸外国との関係: アメリカ |
| 【第10回】 | EUと諸外国との関係: 日本(オンライン) |
| 【第11回】 | EUと諸外国との関係: 中国 |
| 【第12回】 | EUの課題: 移民 |
| 【第13回】 | EUの課題: 経済・雇用ほか |
| 【第14回】 | 復習 |
| 【第15回】 | 期末レポートの書き方、評価のポイントの説明 |